富山県立伏木高等学校同窓会　会報

如意ヶ丘

第30号

《発行》令和7年1月31日

令和６年度如意ヶ丘同窓会定期総会（R６.7）

ごあいさつ

会　長
山崎　泰邦

厳冬の候、会員の皆様にはご健勝で新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平素より、如意ヶ丘同窓会に多大なるご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年は、元日に発生した能登半島地震の影響で、地域で計画されていた諸行事が次々と延期や中止になり、地震災害からの復旧・復興に大きな時間と費用が当てられました。

昨年末に、ようやく上下水道、道路の本格復旧工事が始まりました。町はこれから長い年月を掛けて復興していくものと思います。

同窓会活動も能登半島地震の影響を受け、どうなるかと心配もしましたが、春のゴルフ大会、関東如意ヶ丘同窓会への参加、如意ヶ丘同窓会総会の開催、如意ヶ丘同窓会関西支部総会への出席、海外語学研修派遣支援と４年ぶりに全ての行事が開催されました。本部総会では、中国、韓国、ロシア語の海外語学研修で学んだ事や体験した事を中心に生徒代表から各方面の発表がありました。

このような状況の中、昨年の11月20日に県教育委員会は県総合教育会議で県立高校の学校数を現在の34校から2038年までに20校程度に再編する方針を示しました。方針では1学年400～480人の大規模校を県内で２～３校、1学年200 ～ 240人の中規模校を13 ～ 15校、1学年120人以下の小規模校を３～４校としています。これは昨年生まれた１歳児が高校へ入学する生徒数として捉えた実数に基づく計画となっています。学校の在り方を根底から考え直すようで、全ての県立高校が何らかの影響を受けるものだと考えられます。同窓会の100周年は2027(令和９) 年10月を予定しているので、それまでは学校は存続しますが、その先は本当に予断を許さない状況となります。本校同窓会は勿論の事、関係者の皆さんとも相談し最善を尽くしていかなければと思います。

令和７年度の同窓会行事は、４月のゴルフコンペ、７月の総会、11月の語学研修派遣支援の３本柱で行きたいと思います。本年度は役員の改選期です。100周年事業に向け体制を整え、実行部隊も組織したいと思っています。会員の皆様のご協力をお願いします。なお本年の総会は、７月12日開催の予定です。会員の皆様の参加をお待ちしています。

伝統と歴史のある如意ヶ丘同窓会の更なる発展と母校の繁栄に、微力ではありますが引き続き努力してゆく所存であります。何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。

大寒の候、会員の皆様には御身ご自愛のほどご祈念申し上げご挨拶と致します。

万葉短歌に災害復興の願いをたくす

校　長
高野　靖彦

如意ヶ丘同窓会の皆様におかれましては、日頃より本校への温かなご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

本年度の夏は、在校生の活躍が本校に元気と勇気を与えてくれました。まず３年生の野球部員の田中さんが、夏の県大会に富山西、呉羽、本校の３校連合チームで出場し、シード校の高岡高校と対戦しました。チーム一丸となり、田中さんの好プレーもあり、逆転で勝利をつかみ、見事３回戦へ進出しました。試合終了後、連合３校の校歌が１校ずつ流れ、本校の校歌が球場に高らかに響きわたり、応援席も感動に包まれました。

また、第９回高校生万葉短歌バトル in 高岡では、３年生の町口さん、仁岸さん、前さんのチーム「完全燃焼」が全国32チームによる予選を突破し、本戦に出場しました。本戦では見事な協働力で全国の強豪と互角に渡り合い、全国３位に輝きました。なかでも私は、能登半島地震の体験や災害復興を題材にした仁岸さんの万葉短歌が強く印象に残りました。

- **大地揺れ満ち干く川に舟押され　迫る水面に声も失う（１回戦　題＝水）**
- **イヤサーの雄叫び轟く提灯山　復興目指す大きな一歩（準決勝　題＝歩）**

本大会判者の小島ゆかり氏は「当事者が歌にすることで、その時代に生きた人の思いが記録に残る。これはとても大きな文化的遺産になる」と評されました。

ところで、奈良時代、越中の伏木の地に国守として赴任した大伴家持が編集したとされる「万葉集」の意味について、「万」の字は「たくさん」、「集」の字は「集める」の意味であるというのが定説ですが、じつは「葉」の字の意味はよく分かっていません。国文学者の佐佐木幸綱氏は、「葉」の意味について大きく次の３つの説に分けられるとしています。

それは、①言葉(言の葉) という意味、②時代という意味(時代の中頃を「中葉」と言う)、③未来に向かうという意味、の３つの説です。③の説は、江戸時代の契沖らが唱えています。「万葉集」は、雄略天皇が求婚する縁起のよい歌で始まり、大伴家持の元旦の縁起のよい歌で終わっていることから、この歌集が廃れることなく未来に向かっていつまでも読み継がれ繁栄してほしい、そうした願いや祈りが「万葉」に込められているとみる説です。

いまだ「葉」の解釈に定説はありませんが、「万葉集」という題名に、未来に向かって長く続いてほしいという意味があるとすれば、その願いはまさに地震災害から復興に向かう人びとの願いと重なるのではないでしょうか。

結びに、如意ヶ丘同窓会の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念いたしますとともに、今後とも本校への変わらぬご理解とご支援をいただきますようお願い申し上げます。

総会報告　伏木高校如意ヶ丘同窓会

令和６年度如意ヶ丘同窓会定期総会が７月13日土曜日16：00より、伏木コミュニティセンターにおいて56名の参加にて開催されました。また、関西如意ヶ丘同窓会支部より本山紀美子様にご臨席賜りました。

総会では、城光副会長の司会進行にて、冒頭に同窓会物故者への黙祷を捧げたのちに、山崎会長、高野校長先生よりご挨拶を頂き、議長に選出された山崎会長の進行で、事業計画（案）、会計予算（案）等すべてが満場一致で承認されました。

続いて、第二学年による海外語学研修の発表会が開催されました。

韓国語コースでは、清明高校のみなさんとキンパを作り親睦を深め、観光では、ソウルの明洞、ホンデへ行き、屋台や夜景など満喫したとの事でした。

中国語コースでは、台湾の新北高級中学の皆さんが大歓迎してくれて、交流会でもとてもフレンドリーに接して頂き、現地の皆さんの人柄の良さが一番印象に残ったそうです。

ロシア語コースでは、函館市のロシア極東連邦総合大学函館校へ訪問して交流会や授業に参加して、観光では、羊ヶ丘展望台や函館山からの絶景を満喫したとの事でした。

各コース共に大変有意義な経験をされ、同窓会として引き続き支援していきたく思いました。

総会でも案内がありましたが、いよいよ創立100周年記念事業（記念式典：令和９年10月８日（金））へ向けての準備段階に入りました。OB、OGの皆様方におかれましては、周年事業へ向けて更なるご協力とご尽力賜りたく何卒よろしくお願い致します。

副会長　山岡　弘之（伏高44回）

令和６年度　如意ヶ丘同窓会顧問・役員

役職	卒業回数	氏名
顧問	商業 16 回	大黒　幸雄
〃	北高 3 回	山下　和夫
〃	伏高 16 回	牧　亨
〃	伏高 18 回	山口　正志
〃	伏高 38 回	石須　大雄
〃（関東如意ヶ丘同窓会長）	北高 6 回	酒井　敬司
〃（関西支部長）	伏高 12 回	杉林　清
〃（学校長）		高野　靖彦
会長	伏高 23 回	山崎　泰邦
副会長	伏高 22 回	増井　修
〃	伏高 28 回	上田　耕一
〃	伏高 28 回	谷内　浩仁
〃	伏高 30 回	炭谷　強
〃	伏高 31 回	林　延幸
〃	伏高 31 回	松嶋　浩二
〃	伏高 37 回	条谷　正利
〃	伏高 39 回	戸澤　秀行
〃	伏高 39 回	金田　健一
〃	伏高 40 回	宮越　一郎
〃	伏高 40 回	山本　政則
〃	伏高 42 回	山　鉄也
〃	伏高 43 回	山本　健一
〃	伏高 43 回	城光　茂
〃	伏高 44 回	杉本　和文
〃	伏高 44 回	増岡　寛之
〃	伏高 44 回	山岡　弘之
〃	伏高 50 回	加治　幸大
〃	伏高 50 回	川端　秀和
〃	伏高 51 回	奥原　理
監査	伏高 22 回	向井　辰郎
〃	伏高 26 回	澤武　博

関東如意ヶ丘同窓会 便り

事務局長　山　岸　　清（伏高 17 回卒）

第 28 回関東如意ヶ丘同窓会総会

令和６年６月４日、関東は前線影響で数日毎夕雷雨の中、本日は好天に恵まれ第 28 回総会を総勢 18 名出席のもと、千代田区紀尾井町・ホテルニューオータニおり鶴；翔の間で開催。

同窓会本部より山崎会長・母校から野口先生（高野校長急用の為代理）、そして伏木曳山祭実行委員会会長であられる富山県議会議員針山健史氏のお三方にご多用の中、上京して頂きました。

総会は定刻３時、金子副会長の司会進行のもと、まずは会員物故者への黙祷を捧げた。

酒井会長挨拶に先立ち富山県人連合会「懇親のつどい」開催日で超ご多忙の中、冒頭に連合会東専務理事へ来賓挨拶をお願いした。当総会に出席できたことへのお礼、そして日頃からの連合会活動行事に対する協力支援に深く感謝しているとのお言葉であった。

酒井会長挨拶はコロナ禍にて総会を止む無く中止せざるを得なくなったことに対し、改めて会員皆様のご理解に感謝し、今後はこれ迄以上の一層充実した活動を会員全体で盛り上げていきましょうと力強い発言に対し、全出席会員はうなずきながら聞き入った。

議事では、山岸事務局長より令和元年度事業報告から令和６年度事業計画、サッカー部／国際交流基金等への協力の説明があった。その後、高校生活の思い出事話で、新潟地震時の体感・38 豪雪の雪踏み活動・運動会終了時にグランドで大きなファイヤー囲んでのフォークダンスの楽しかったことが語られた。

続いて北山会計長より数年間に亘るため理解得易い年度のみの会計報告を行って終了し、岸監査の監査報告は一点の曇り無く監査完了と報告あり、満場一致の拍手で承認された。

作道常任幹事による議事終了宣言があり全ての設定議事は終了した。

来賓挨拶は石岡弘子東京富山県人連合会副会長の伏木に縁ある大伴家持の和歌披露はじめ万葉集についてのお話があり。終わってから大きな拍手が起きた。

山崎会長の挨拶では同窓会の近況報告、野口先生からは母校の活動状況を記した PTA 広報紙を配布戴き、高野校長からのメッセ―ジとして教育・文化・スポーツ・ボランテァ活動等の現況報告があった。

針山会長からは、能登半島地震による液状化被害、曳山は道路陥没で巡行出来なくなり、例年と異なる山倉前県道で無観客のカッチャになった経緯説明有り、実行迄のご労苦に感服。富山県人口は 100 万人を割り、18 歳人口は昭和 49 年の半分以下となり少子化対策は喫緊課題と捉えているが具体策に苦慮中、数年後には伏木 - 古府 - 太田３小校の合併・統合案もあるような話であり、本校も他に類なき「国際交流科」であっても、学校存続には多少の懸念はあり、教育委員会の検討状況を見つめたいとの説明であった。

「懇親のつどい」会場への移動時間が迫り、岸監査の音頭で万歳三唱を済ませて、金山副会長の閉会挨拶のあと出席者全員で校歌「青雲布ける立山に…」を高らかに唄って散会／移動した。

関西支部 便り

関西支部事務局長　田　島　　優（伏高 24 回卒）

第 28 回如意ヶ丘同窓会関西支部　総会・懇親会

第 28 回如意ヶ丘同窓会関西支部総会・ 懇親会が令和６年９月 22 日「道頓堀ホテル」において開催されました。前日からの大雨で北陸地方、特に能登では甚大な水害が発生し、交通事情の悪い中を母校より高野靖彦校長、本部より増井修副会長に来賓としてご出席いただき、支部会員 11 名と合わせて 13 名で行われました。

冒頭、校友物故者への黙祷を捧げました。

次に杉林支部長から高齢のためか年々参加会員が減少しているが、同窓会 100 回記念までもう３年程なので、健康に気を付け皆で継続しようとの決意表明を兼ねた挨拶がありました。増井副会長からは久しぶりの関西支部総会に参加できたこと、今年１月１日の能登地方大地震による校区内の被災 ・復旧状況についての報告を頂きました。高野校長からは久しぶりに韓国との間で生徒の相互交流ができたこと、野球部が生徒数の減少で他校と合同チームを組んだが、久しぶりに１勝したこと、地域と連携した生徒の清掃奉仕活動が表彰されたこと、震災時には校舎を１週間ほど臨時の避難場所としたこと、地震の影響か、本校受験者数が顕著に減少したことなどをご報告いただきました。

総会議事では令和５年度事業 ・収支報告、令和５年度会計監査報告、令和６年度事業計画 ・収支予算案が各担

当幹事から報告され、参加会員からの賛同を得えて無事終えることができました。

引き続き懇親会を、増井副会長の乾杯の発声で開始し、久しぶりの再会で積もる話に花を咲かせました。役員のサポートで今年も富山県の特産品抽選会やカラオケ大会を開催し、例年に増して大変盛り上がりました。最後に西川副支部長から閉会の挨拶があり、恒例の麦谷一男氏による一本締めで閉会となりました。

来年は新会員を得てこの会をもう少し若返らせよう、と淡い希望を共有しつつ来年の再会を約束し、盛会のうちに解散となりました。

真夏の学年登校日　―第53回卒業同窓会―

開催日：令和６年８月12日

　元日の地震により被災し、地元伏木の現状と自分が被災者になった事が信じられず生活している中、当時の学年主任の野口先生とお話させて頂く機会があり、こんな時だからこそみんなで集まり旧交を温めたいですねという話になり、同窓会を企画する事にしました。
　野口先生から「学校を使ってやったらどうか？」という提案をいただき、「真夏の学年登校日」と銘打って内容を検討していきました。
　当日は、快晴！当時の野球部数名で早めに集合して一緒にグラウンドを眺め当時の話をしながら部活動引退以来のキャッチボールをしました。ほどなくして懐かしの生徒玄関から48名の卒業生が１組から５組の各クラスへ登校しました。
　１限目は３年生の時に在籍したクラスでのHR。みんな、クラスへ向かう廊下や階段では、「懐かし～」の連呼。各クラスには当時の担任の先生にも来ていただき各クラスからは先生や同級生との24年ぶりの再会を喜ぶ声が聞こえてきました。各クラスで現在の近況などをはなし、２限目は視聴覚室に移動し、学年集会。同級生が作成してくれた、当時を振り返る動画を見た後、野口先生の伏木の歴史の授業を受けました。もちろん、寝ている人はいません（笑）３限目は、体育館での球技大会（フリースロー大会）を企画していましたが、体育館内の気温が40度を超えていた為急遽中止とし、セミナーハウスでの懇親会へと移りました。質問タイムが設けられ、盛り上がってきた中、「（伏木高校の）同級生同士で結婚した人？」という質問で最高潮を迎えました。該当した数名が立ち上がると「え～‼ウソやろぉ～‼」という声が響き渡る中、座った後は周りのみんなから馴れ初めの尋問を受けていました。
　あっという間に時が流れる中、最後に全員で校歌を歌い記念撮影をし、先生方の万歳をさせていただき素晴らしい登校日は放課となりました。
　まだまだ伏木は復興道半ばではありますが、先生方や同級生との再会でもらった元気、エネルギーを今後の生活に生かしていきたいと思います。
　参加してくれたみんな、ありがとう‼

第53回卒業生学年代表　鶴谷　卓哉

「皆様に支えていただいた語学研修」

伏木高等学校２学年主任　**岩瀬　裕嗣**

　昨年度に引き続き、国外２ヶ所、国内１カ所で語学研修を実施しました。第二外国語の中国語選択者16名が令和６年12月16日㈪～19日㈭に台湾で、韓国語選択者43名とロシア語選択者18名が令和６年12月17日㈫～20日㈮に、それぞれ韓国、北海道で実施しました
　語学研修に先立ち、令和６年11月14日㈭、本校において、如意ヶ丘同窓会山崎会長様より、国際教育基金からの助成金をいただきました。そして、ご挨拶と激励のお言葉をいただき、生徒たちの意欲を一層高めていただきました。代表生徒３名によるお礼の言葉にもそれがよく現れていたと思います。
　台湾での研修の中心は、新北市立新北高級中学校訪問です。伏木高校の発表では、伏木高校と日本文化の紹介をしました。今回工夫したのは、一方的な発表にならないよう、新北高級中学校の生徒が実際に体験する場を設けたことです。けん玉と福笑いを体験してもらいましたが、生徒にも先生方にも好評で大変盛り上がりました。また発表後に中国語の発音が良かったと声をかけてもらい、自信がつきました。生徒間交流では共通する話題も多く、お菓子交換をしながら、友好を深めることができまました。
　実際に現地を訪れ、台湾の歴史について考えさられる機会が多くあったと思います。日本語を話せる人が多く、親日的な雰囲気が強い背景を歴史的に考察し、感想を語ってくれた生徒もいました。
　韓国での研修の中心は、友好校である清明高等学校訪問です。歓迎式、授業体験、給食、ホームルームへの参加、手帳デコ体験と、朝９時から午後３時40分まで、密度の濃い時間が続きました。歓迎式の中にあった伏木高校の発表は、本校生徒による司会で進行し、富山県や伏木高校の紹介、歌、ダンスなど大変好評でした。清明高校の生徒たちからは歓声が上がり、同行したガイドさんからは韓国語のレベルが高いと驚きの声が聞かれました。中断していたホームステイも復活し、友好校との絆の強さを様々な場面で感じることができました。今回初挑戦したのが班別活動です。自分たちで計画を立て、交通機関を利用して移動したり、飲食店で注文をしたり、ソウルの街を使って韓国語を実践しました。少しハードルが高いのではという心配もありましたが、やり遂げた生徒たちの表情からは自信と逞しさを感じました。
　北海道での研修は、チームワークの良さが発揮されました。語学研修の中心となったのは、ロシア極東連邦総合大学函館校での発表です。準備段階から全員で協力して、プレゼンテーションや原稿を作成しました。ロシア人の先生を前に緊張もしましたが、精一杯の発表ができたと思います。その他にも道中のいろいろな仕事を積極的に引き受けてくれる人がいて、研修を円滑に進めることができました。
　ウポポイ民族共生象徴空間でアイヌの文化を学んだり、エスコンフィールドHOKKAIDOでスポーツビジネスの先端的な取り組みを見学したり、様々な研修を行いましたが、一番印象に残ったのは北海道の食文化だったかもしれません。ジンギスカン、カニ、北海道の食材をふんだんに使ったカレーと美味しいものを食べるごとに笑顔がこぼれていました。
　最後になりましたが、如意ヶ丘同窓会の皆様におかれましては、本校教育活動に温かなご支援を賜わり心より感謝しております。皆様の今後のご健康とご多幸をお祈りいたします。
　各研修の詳細につきましては、令和7年7月12日㈯に行われます、同窓会総会において報告いたします。

卒業回	社名	役職	氏名
北高三回卒	山産商会	代表	山下和夫
北高九回卒	東光産業㈱	取締役	布野彰一
伏高十二回卒	エムアールテクノサービス㈱	代表取締役	作道和宏
伏高十四回卒	㈱ウエノ	取締役会長	上野宏芳
伏高十六回卒	東光運輸㈱	代表取締役	牧亨
伏高十八回卒	東洋通信工業㈱	会長	山口正志
伏高二十二回卒	マスイエンジニアリング㈱	代表取締役	増井修
伏高二十三回卒	社会福祉法人 伏木会	理事長	山崎泰邦
伏高二十三回卒	㈲北陸ケアサービス	会長	阿尾隆司
伏高二十五回卒	㈱フェイス・シマダ	取締役	柳沢昌文
伏高二十六回卒	㈲昭和運輸	代表取締役	小泉哲二
伏高二十七回卒	井上動物病院	院長	井上人士也
伏高二十七回卒	浜焼き 浜風 セブンイレブン高岡城東店		松長聡

二つの国宝 瑞龍寺と勝興寺

公益財団法人 勝興寺文化財保存・活用事業団
専務理事（学芸員） 高田　克宏（伏高 27 回）

高岡市には瑞龍寺と勝興寺の二つの国宝建造物がある。寄稿の３回目はこれらの国宝を比較して述べてみたい。

まず平成９年(1997)12月に県内初の国宝となった瑞龍寺から。宗派は曹洞宗。加賀前田家二代当主であり高岡の開祖前田利長が建立した法円寺を、三代利常が利長の菩提を弔うため利長の法名「**瑞龍**院殿聖山英賢大居士」に因み改称し、大改造した。東西軸線上に総門、山門、仏殿、法堂（はっとう）を並べ、左右の両脇に禅堂、大茶堂（だいさどう）、大庫裏（おおぐり）、浄頭（じんず）、浴室を置き、それらを回廊が一巡する「伽藍瑞龍」と呼ばれる本格的な禅宗伽藍で、シンメトリックな美しさが際立つ。山門、仏殿、法堂の３棟が国宝、その他７棟が重要文化財である。

次に、令和４年(2022)12月に国宝となった勝興寺。宗派は浄土真宗本願寺派。文明３年(1471)に本願寺八世蓮如上人が南砺市土山に創建した土山御坊を起源とする。寺号は、順徳天皇が佐渡に建立した「殊**勝**誓願**興**行**寺**」を受け継いだ。寺基を土山から高木場(南砺市高窪)、さらに安養寺(小矢部市末友)へと移し、天正12年(1584)に神保氏張の城館のあった現在の伏木古国府に移った。この地に移るまでは越中一向一揆の拠点であったが、天正13年に羽柴(豊臣)秀吉及び前田利勝(利長)からそれぞれ寺の安全と既得権が安堵され、以後は本願寺や公家、加賀前田家と密接な関係を保ち大伽藍を整備してきた。１万坪の境内の周囲は土塁と空堀が巡り、主要な建物を東面して置き、境内の南側(向かって左)に本堂を中心とする堂舎群、北側(同右)に大広間や書院などの殿舎群を置く。すなわち、境内南側が参拝のための公共空間、北側を私的空間である僧侶の住居(本坊)を置く伽藍配置としている。国宝は本堂、大広間及び式台の２棟で、その他10棟は重要文化財である。

来歴や伽藍構成などは以上のとおりである。これ以外にも両寺の違いは多々あるが、限りある紙面の中で特に力説したい点を以下に述べたい。

①瑞龍寺（以下「前者」）は建立当初３万坪以上の境内地を有していたが、明治維新や廃仏毀釈によって寺域は１万坪に減少し、失われた建物もある。対して、勝興寺（以下「後者」）は寺域に変化はなく、さらに江戸期に建立された建物がほとんど残されている。

②前者の建物群に使用されている木材はどれも高品質なものを厳選し使われているのに対し、後者のそれは木目の傷や湾曲したものが大工の工夫で随所に使われている。

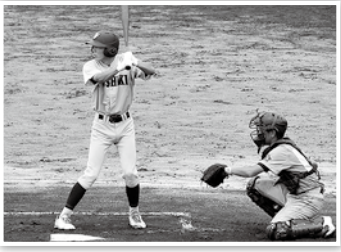
そこで結論。上記２点の相違は、前者が加賀藩の威信をかけて建立され、藩の力で維持されてきたのに対し、後者はすべてとは言わないまでも、民衆の献身的な奉仕によって建立され、また維持されてきたことが形になって表れているのである。すなわち、前者は「加賀藩の権威」を、後者は「民衆性」を象徴する寺院と言うことができる。

最後に、地方都市である高岡市にこのような性格のまったく異なる国宝寺院が複数存在することを高岡市民はもっと自慢していいのではないだろうか。

伏木高校野球部の3年間を振り返って

野球部3年　田中　勇樹

私は 2022 年次にここ伏木高校の野球部に入部した。当時は私を含め３年生４人と１年生４人の計８人がいた。単独で試合をすることができないため、呉羽高校と連合を組み大会に出場した。2022 年度の夏の大会では、大門高校と対戦し、７回時点で３対４と伏木･呉羽が大門に１点のリードを許してしまった。そして、私が２アウト２．３塁の好機に代打として打席に立つことになった。今でもあの大一番の雰囲気と緊張は忘れることができない。私を起用して下さった監督さんの期待に応え、逆転の安打を放つことができた。あの喜びと歓声、高揚感は間違いなく私の人生の中でも絶対に忘れることができないものになった。この逆転を機にチームは勢いを増し、一気に攻めて最終的には４対７で勝利することができた。しかし、二回戦の魚津工業戦では５対９で敗北してしまい、部員は先輩が引退して一年生４人しか残らず、本当につらい時期があった。



私が３年生の時には、私１人になり最後の夏の大会を迎えた。試合本番では、春季大会ベスト８のシードの高岡高校を相手に６回まで０対２のロースコアの展開を作ることができた。そして７回、私のホームスチールで１点をもぎ取り、８回には打線を繋いで逆転し、頭部へのデッドボールから復活したチームのエースが最終回まで守り切り試合に勝利することができた。３回戦の未来富山戦では悔しくも負けてしまったが、最後の大会で１勝することができ、自分も活躍できて校歌を歌えたことは私にとって満足できる結果で引退できた。私がこの２年半で得たことは色々な方々への感謝である。苦しい状況の中で野球を続けることができたのは親や先生の支えがあったからだ。さらに言えば、背中で見せてくれた先輩や私に頑張れと言ってくれた友人のおかげだと思い、たくさんの人からの支えに気づけたことが最も大きなことだと思う。私は、私を支えてくれた全ての方に感謝したい。

伏高二十七回卒	島田工業㈱ 代表取締役	伏高三十一回卒	松島工業㈱ 代表取締役専務	伏高三十四回卒	㈱ローリング 代表取締役	伏高三十七回卒	スミ工芸企画 代表	伏高三十七回卒	三和運輸㈱ 代表取締役社長	伏高三十九回卒	㈱日光商事 代表取締役	伏高三十九回卒	ティーエムシーエムアール㈱ 代表取締役
島田博司		**松嶋浩二**		**数田昭久**		**条谷正利**		**勝山英和**		**戸澤秀行**		**前田伊和男**	

伏高四十回卒	宮越工芸㈱ 代表取締役社長	伏高四十二回卒	ヤマ自動車㈱ 代表取締役	伏高四十二回卒	㈲聚楽 旬菜食飲 かめ蔵 代表	伏高四十四回卒	山岡石材工業㈱ 代表取締役社長	伏高四十四回卒	㈱杉本美装 代表取締役	伏高五十一回卒	奥原電気 代表		
宮越一郎		**山鉄也**		**田守盛久**		**山岡弘之**		**杉本和文**		**奥原理**			

～令和６年度 進路状況～

進路指導主事　**細口　真弓**

今年度の３年生より新課程入試がスタートしました。新教科「情報」が加わったことを始め、科目・時間など様々な点で変更がなされています。入試制度や出題形式が変化しても、**高校の授業で基礎学力をしっかりと身に着ける**ことが重視されています。

（就職について）

高校生に対する需要は根強いものがあり、求人数的には十分と言えます。今後は個人の適性を鑑み、仕事に求めるイメージと企業とのマッチングを進めていくことが肝心だと思っています。

（進学について）

上級学校への入試方式は、多様化・複雑化が著しくなっています。強みや個性を活かした推薦型・総合型の入試も多く、年内入試志向も強まりつつあります。いずれの受験型においても基礎学力が大前提であることは言うまでもありません。

昨年度のアンケート調査では、「自分の進路に対して満足のいく進路実現ができた」と答えた生徒は、90％を越え、非常に高い割合となりました。今年度も生徒の進路実現に向かい、教職員一丸となり生徒個々の能力を最大限に引き出し、最善の進路を選択できるよう、努力を重ねてまいりました。

同窓会の皆様には、本校生徒の進路実現のため一層のお力添えを宜しくお願いいたします。

令和６年度 大学等進路状況

令和６年 12 月末現在

進路先	合格者数	学校名・企業名等
国公立大学	7	富山県立大学、信州大学、長野大学、新潟県立大学、群馬県立女子大学
私立大学	14	富山国際大学、金沢学院大学、金沢星稜大学、北陸大学、福井工業大学、立命館大学、東京国際大学、関西医療大学、昭和女子大学、桜花学園大学
短期大学	7	富山短期大学、富山福祉短期大学、金沢星稜大学女子短期大学部、愛知文教女子短期大学、名古屋文化短期大学
専門学校	37	高岡看護専門学校、北陸職業能力開発大学校、富山県技術専門学院、富山県理容美容専門学校、富山歯科総合学院、富山自動車整備専門学校、富山情報ビジネス専門学校、富山大原簿記公務員医療専門学校、富山国際ペットビジネス専門学校、スーパースイーツ製菓専門学校、金沢医療技術専門学校、国際動物看護専門学校、専門学校金沢美専、埼玉東萌美容専門学校、新東京歯科衛生士学校、成田航空ビジネス専門学校、東京ビジュアルアーツアカデミー、代々木アニメーション学院
就職	18	株式会社プレステージ・インターナショナル富山 BPO タウン、BBS ジャパン株式会社、クマキ株式会社、塩谷建設株式会社、株式会社タカギセイコー、TFB ファクトリーズ株式会社、アユナユ、クラシエ製薬株式会社、庄川温泉観光ホテル株式会社、アイシン軽金属株式会社、有限会社 LEGEND OF K、富山住友電工株式会社、自衛官、富山県警察

活動報告　Fushiki High School

◇◇◇ 令和６年度 部活動等の記録 ◇◇◇

（令和６年３月～12月）

〈サッカー部〉

富山県 U-18 フットサルリーグ 2024

一　部　　県大会　　準優勝（全国大会出場）

〈書道部〉

第 49 回富山県青少年美術展　書部門

入　選　松井　季奈（12H）

第 49 回ふれあい書道展

特　選　平井　愛乃（21H）

奨励賞　堀田　美花（11H）

奨励賞　杉本　南穂（12H）

奨励賞　松井　季奈（12H）

敢闘賞　井口　光星（11H）

第 23 回全国書道展　特　賞　井口　光星（11H）

優秀賞　平井　愛乃（21H）

優秀賞　松井　季奈（12H）

秀作賞　堀田　美花（11H）

努力賞　杉本　南穂（12H）

〈琴　部〉

第 34 回富山県高等学校日本音楽演奏会

日本音楽部門　　優秀賞

〈その他〉

第 9 回高校生万葉短歌バトル in 高岡（全国大会）

第３位　チーム「完全燃焼」

仁岸　　航（33H）

前　　和花（33H）

町口晟衣莱（33H）

「高志の国文学」情景作品コンクール　文芸部門

金　賞　鶴谷　和奈（11H）

第 25 回富山県高校生ホームプロジェクトコンクール

入　選　中嶋乃々葉（13H）

チューリップテレビ「ハイスクールチェック」

グッドリポーター賞　生地　眞知（23H）

国際ロータリー第 2610 地区　ガバナー表彰

林原　春海（33H）

ゴルフ大会報告

第39回 如意ヶ丘グリーン会

開催日　令和６年4月13日(土)　参加者 35 名

開催場所　氷見カントリークラブ

優勝	畑　斉嗣	（伏高 31 回）
次勝	林　延幸	（伏高 31 回）
３位	寺田　徹	（伏高 31 回）
４位	山崎　泰邦	（伏高 23 回）
５位	市田　孝	（伏高 31 回）
６位	島　和久	（伏高 28 回）
７位	酒井　勝之	（伏高 30 回）
８位	松嶋　浩二	（伏高 31 回）
９位	田中　清	（北高 ９ 回）
10 位	舘　良成	（伏高 32 回）
ＢＧ	畑　斉嗣	（伏高 31 回）

公式インスタグラムはこちら▶

■お知らせ　伏木高校の公式インスタグラムができました。ぜひご覧いただき、フォローをよろしくお願いします！

INFORMATION

①平成 28 年版名簿発行のお知らせ

平成28年版如意ヶ丘同窓会名簿を発行しました。希望される方は直接来校されるか同窓会事務局にお申し込みください。

価 格：4,350 円（送料、税込み）

②会報購読、会報広告の件

会報の購読を希望される方、および会報への広告掲載にご協力いただける方は、事務局までご一報ください。

③寄稿の件

本会報に掲載する原稿を募集いたします。学生時代の記憶に残る体験、経験談、思い出話など皆様のご協力を頂き、より充実した紙面を目指していきたいと思っております。なお、**原稿は 1,000 字以内**でお願いいたします。下記のメールアドレス、または学校事務局まで送付ください。

④如意ヶ丘グリーン会参加者募集

毎年４月第２土曜日

受付窓口
富山県立伏木高等学校　同窓会事務局
〒933-0116 富山県高岡市伏木一宮2丁目11番1号
ＴＥＬ0766－44－1514 ＦＡＸ0766－44－1707
E-mail: fushikiko@ed.pref.toyama.jp　HP: http://www.fushiki-h.tym.ed.jp/

編集後記

昨年の元旦には「能登半島地震」が発生し、９月には「能登豪雨災害」が発生するなど、伏木地区は大きな災害が重なりました。

とりわけ伏木地区では断水が発生し、多くの住民が学校や伏木コミュニティーセンターなどへ避難されました。行政職員や消防団などの皆さんには発災直後から献身的に対応をいただきました。また、避難所には、東京都や泉佐野市等々、全国各地から給水車が駆けつけ支援いただきました。並んだ給水車を見るたびに、震災に立ち向かう勇気をもらったのは私だけではなかったと思います。

伏木高校は2027年には創立100周年の節目を迎えます。100年の歴史をふり返る中で、今回の地震も含めて、人と人との絆の大切さを思い返す契機となるよう尽力して参ります。

副会長　山本　健一（伏高 43 回）